



**総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン**  
**独自ノウハウと AI 活用で政治活動の SNS リスクを徹底防御！**  
**政党向け SNS リスク即時検知サービス提供開始**  
**～長年の監視実績を基盤に、継続的な AI 機能の拡充で安心・安全な政党運営をサポート～**

イー・ガーディアン株式会社 (<https://www.e-guardian.co.jp/> 東京都港区 代表取締役社長：高谷 康久 以下、「イー・ガーディアン」) は、2025 年 12 月 4 日 (木) より、長年の投稿監視実績から培った知見を基盤とし、AI 活用を推進する政党向け SNS リスク即時検知サービスを提供開始したことをお知らせいたします。



# E-Guardian

We Guard All

イー・ガーディアンは、総合ネットセキュリティ企業として投稿監視、本人確認、広告審査、ソーシャルリスニング、サイバーセキュリティなど、インターネット世界の安心・安全を実現するべく、ネットセキュリティに関するあらゆる課題をワンストップでサポートしております。昨今では、市場における生成 AI 技術の発展を受け、AI 技術を活用した IT ソリューション開発にも注力しております。

年々 SNS の影響力が増す一方、生成 AI の普及によりフェイク動画/画像などが拡散され社会問題となっています。こうした状況は政治活動にも影響を及ぼしており、政策発表や意見表明、ライブ配信などで SNS が活用される反面、事実無根の虚偽情報や誹謗中傷が発信され、その対応に追われることで、本来の政策を訴える活動が妨げられる事態も起きています。総務省の調査では SNS 上の偽・誤情報に 40.4% もの人が接触しているということが判明しています。さらに、その情報が誤っていることに気づいている人は平均 43.3% である中、政治関連に限定すると正しく認識できた人はわずか 20.3% でした※。

また、SNS の扱いに不慣れであるが故に、不適切な投稿によって政治家自ら炎上を招いてしまうケースも見受けられ、実際にトラブルも発生しています。

このような背景を受け、イー・ガーディアンはあらゆるリスクから政治家を守り、安心して政治活動に注力できるよう、長年の投稿監視実績から培った知見を基盤とし、AI 活用を推進する政党向け SNS リスク即時検知サービスを提供開始する運びとなりました。

本サービスは予防的観点での「定常監視 (予防)」と「スポット対応 (危機管理)」の 2 軸でサポートします。世論の動向や虚偽情報 (フェイク動画/画像) の拡散、情報発信時のリスクまで広範に対応し、必要なサービスだけを柔軟にカスタマイズできる点が特長です。

平常時の定常監視では、実績豊富な専門オペレーターと AI 体制で SNS を継続的に監視します。AI を搭載した投稿収集ツールを用いて投稿内容のポジネガ判定を行い、その判定結果を基にオペレーターの間でも判断することで判定精度の向上と効率化を図ります。これにより、政党/政治家や政策に関する世論、虚偽情報、投稿件数の異常な推移などを早期に検知し、迅速な対応判断を支援します。選挙期間などの重要時期には「集中監視」へ移行。24 時間 365 日体制で、世論の急変や虚偽情報の拡散、犯罪予告など緊急性の高い投稿を即時に検知・報告し、危機発生時の迅速な初動対応をバックアップします。

さらに、炎上を未然に防ぐ予防策として、SNS 発信時には専門オペレーターによる「投稿事前チェック」を行い、不用意な炎上を回避します。あわせて、SNS の基礎から炎上リスク、最新の活用事例までを学べる SNS リテラシー向上のためのセミナーも開催し、組織全体のリスク管理体制構築をサポートします。

なお、今後は監視精度や炎上リスク判定精度の向上のため、炎上リスク判定や過去の炎上事例との類似度判定、検知ワードサジェストなどに活用できる、イー・ガーディアンならではのノウハウと融合させた独自の AI 開発にも注力してまいります。

今後も、イー・ガーディアンは、専門性と質の高いサービスを提供し、ミッションである「We Guard All」の実現に向け、人々の生活をより便利に、豊かにするサービスの開発に尽力してまいります。

※総務省 プラットフォームサービスに関する研究会『偽・誤情報の現状とこれから求められる対策』（2023 年 3 月）

## 【サービス概要】

詳細 URL : <https://www.e-guardian.co.jp/service/net-patrol/online-rumor/>

## ■監視先対象メディア

X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram、YouTube、TikTok、各種掲示板、ニュースサイト など

## ■よくあるご相談と弊社解決策

政党が抱える課題		弊社解決策
政治活動に影響を及ぼすフェイクニュースやデマなど誤情報が拡散されてしまう	➡	<b>「定常監視」</b> リスクを早期に検知することで、正しい情報のアナウンスなど迅速な対応を可能にします
選挙期間中など特定のタイミングで増加する投稿を確認するリソースが足りない	➡	<b>「集中監視」</b> 24時間365日体制でリスクを即時検知・報告し、対処法の検討など初動対応を効率化します
政党、政策に対するSNS上での反応を把握したい	➡	<b>「アカウント監視」</b> 立場の異なるアカウントの反応を把握することで、方針策定を支援します
炎上リスクが怖くてSNSで情報発信するのが不安	➡	<b>「炎上予防サポート」</b> 投稿前の内容を事前チェックすることで不用意な投稿を回避し、安心安全なSNS活用に導きます
SNSを活用したいがそもそもよく分からない	➡	<b>「SNSリテラシー向上支援」</b> 基礎から炎上リスクや効果的な活用方法まで、事例を踏まえ解説し、健全なSNS活用を促します

## 【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 19 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。

## ■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 高谷 康久

所在地 : 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

設立 : 1998 年 5 月

資本金 : 1,967 百万円 (2025 年 9 月末日現在)

業務内容 : ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/  
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/  
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業務

URL : <https://www.e-guardian.co.jp/>